

観 点 ・ 小 問 ご と の 分 析	対 策 の 視 点
<p>絵を年表に位置づける問題の正答率は68%である。誤答例としては、源頼朝の挙兵が多い。</p> <p>生育歴を年表に位置づけ、だれの生育歴であるのか判断する問題の正答率は64%である。誤答例としては源義経が目だつ。</p> <p>年表から承久の変の結果を引き出す問題の正答率は58%である。誤答例としては、元寇の結果を指摘したものが多い。</p>	<p>もこれらの指導が十分になされていれば、正答率をもっと高くなったものと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 一つの資料だけでなく、多くの資料から判断する学習活動を取り入れたい。</li> <li>◦ 因果関係を年表からとらえさせることは、歴史的事象を理解させるのに効果的な指導である。</li> </ul>
<p>観点②（資料活用能力）について</p> <p>文書資料、円グラフ、統計地図、絵、年表など多くの種類の資料から出題したが、観点②の平均正答率は61%である。しかし、小問によっては 25～82% で大きな差が見られる。特に低いのは統計地図の読み取りである。</p> <p>統計地図は、統計表を地図化したものであり、統計地図の指導にあたっては、統計表の読み取りについての指導を強化するとともに、統計図表を作成させたり、地図に書かせるなど児童の作業を取り入れた学習をさせるのが効果的である。</p>	
観 点 ・ 小 問 ご と の 分 析	対 策 の 視 点
<p>③ 社会的思考・判断</p> <p>1. 文書資料（秀吉の刀狩りの命令）からの思考・判断</p> <p>刀狩りのねらいを思考し、適切な判断を下したものが多く、正答率は71%である。</p> <p>刀狩りの結果についての正答率は69%である。誤答例としては「武士は農民と同じ身分にされ、くらしが苦しくなりました。」が大部分をしめている。明治維新の四民平等と混同しているものが多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 文書資料から思考し、判断するには、まず文書資料を読み取り既知の知識や理解事項を駆使して思考しなければならない。したがって、この問題では、刀狩りの内容を読み取り、信長以来大名たちが行ってきた政治のねらいを思い起こし、判断しなければならない。このような学習を授業に大いに取り入れ、訓練させておきたいものである。</li> </ul>
<p>2. 鎖国の影響についての思考</p> <p>鎖国によって、幕政が安定し、日本独特の文化が発達したと正答したものは、47%である。誤答例としては、「200年の乱世</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 鎖国の影響については、政治・経済・文化など広い視野から指導しておきたい。特にこの問題は、我が国独自の歌舞伎や浮世絵などの町人文化の発達についての理解が必要であ</li> </ul>